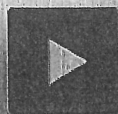


N 県立支援学校で教諭が生徒に虐待か

© 2019.10.21 19:11

担任 県立の特別支援学校 男性講師
生徒を殴るなどの虐待か



学校 (TKUの取材に対し)

**「否定はしない
詳しい事実関係を確認中」**

©TKU

県立の特別支援学校に通う中学部2年の男子生徒が担任の男性講師から殴られたり、下腹部をつねられたりするなどの虐待行為を受けていたことが分かりました。保護者によりますと、男子生徒のクラスを受け持つもう一人の担任が「生徒が担任講師から下腹部をつねられるなどしている」と保護者に連絡。保護者が男子生徒に確認したところ、男性講師はこのほかにも着替え用のカーテンを開けて外から見えないようにして殴ったり蹴ったり、生徒が座ろうとした椅子を故意に引いて転倒させるなどしたということで、学校に確認したところ、男性講師はこれらの虐待行為を認めたということです。TKUの取材に対し学校は「否定はしない。詳しい事実関係を確認中」とコメント。県教委も「確認中」としています。男性講師は現在、生徒と接触しない環境に置かれているということで、学校は23日、保護者会を開く予定です。

県立特別支援学校の講師

生徒殴る 暴言も

県立の特別支援学校 たほか、「くさい」なし、通勤を控えているで、担任の男性講師が、どの暴言を浴びせていたという。同校教頭は「許されない行為。県教委との相談の上、保護者や子どもに寄り添いながら対応する」としている。

10月上旬、別の担任から「生徒が言うことを聞かなかつたため、講師が下腹部をつかみ、泣かせてしまった」と、母親に電話で連絡があり発覚。同校が聞き取りなどで調査した結果、「不適切な指導や関わり」を複数回確認したという。講師は生徒側に謝罪

男子生徒の母親によると、男性講師は6、10月に教室内で、生徒の下腹部をつかんだり、腹をたたいたりし

説明会を開く。男子生徒の母親によると、男性講師は6、10月に教室内で、生徒の下腹部をつかんだり、腹をたたいたりし

講師は生徒側に謝罪

母親は「教師として考えられない行為で、なぜ起きたのかしっかりと調べてほしい。今後、こつこつことを起こしてほしくない」と話している。(中島忠道)



県立の特別養護学校の男性講師が生徒に暴力を振るっていた問題で説明会に集まった保護者ら＝23日夜、熊本市

暴力の講師「厳正に処分」

県教委 支援学校保護者に説明

県立の特別支援学校(熊本市)で、20代の男性講師が副担任を務める男子生徒に暴力や暴言を繰り返していた問題で、同校と県教育委員会は23日夜、緊急の保護者説明会を開き、講師から聞き取った内容を報告した。実効性のある再発防止策や講師の処分は示され

ず、保護者から疑問の声が相次いだ。非公開であり、174人が出席。約2時間の半に及んだ。息子を通わせる30代の父親は「再発防止策が示されず、納得できない」と憤慨。男子生徒の母親は「原因が完全に解明できていない。さらなる調査や講師の処分などを具体的に求めたい」と不満を示した。説明会後に記者会見した校長と県教委によると、把握したのは、今年6～10月、ビニールひもで手を縛る、腹を平手でたたくなどの暴力5件、「臭い」「デブ」などの暴言3件。講師は自宅謹慎中で、県教委は処分について「今後、厳正に対処する」とした。校長は「保護者に納得いただけなかった部分は、今後さらに生徒や教師に聞き取りなどを重ね、説明したい」と話した。(堀江利雅)

許せない支援学校講師の暴力

県立の特別支援学校の講師が生徒を殴ったり暴言を吐いたりしていた、という記事がありました。許せません。生徒たちは文字通り支援が必要

な弱い立場で、意思をうまく伝えられないこともあると思います。でも、私の孫も支援学校でお世話になっていますが、優しく接すると笑顔がで

るし、意欲もわくんです。暴力に訴えるなんてとんでもない。こんなことがあると、子どもは人を信じられなくなるでしょう。二次被害も心配。再発防止を徹底してほしいです。＝天草市、無職・男、70